

## 乳癌 PET/CT 検査の性能と乳癌診断精度に関する研究

### ●はじめに

PET/CT 検査は乳癌の診断に広く用いられています。しかし、PET/CT 装置の構造や検査方法の違いは診断精度の差の原因となり、検査結果を共通した基準で判定する際の問題となっています。そこでわれわれは、複数の PET/CT 装置の性能と診断精度を明らかにし、検査結果を同一の基準で判定する方法の研究をしたいと考えています。

### ●対象

本研究は平成 20 年 1 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日の間に九州大学病院にて乳癌 FDG-PET 検査を実施された方 172 名を対象に研究させていただきます。対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡ください。

### ●研究内容

まず、各検査で得られた画像において病変部の大きさ、薬剤の集積程度などを比較検討します。そして以前に模型を使って作成した換算表によって、本院の 2 台の PET/CT 装置の性能の補正を試みます。さらに、診断精度への影響や検査データの標準化の可能性や均一性について検討します。

### ●患者さんの個人情報の管理について

本研究では個人情報漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取っています。本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。また、データを別の研究に二次的に利用する場合は、あらかじめ倫理審査委員会に申請し承認された後に利用いたします。

### ●研究期間

研究を行う期間は平成 27 年 3 月 31 日まで。

### ●医学上の貢献

本研究にて PET/CT 装置毎の性能と診断精度が明らかになれば、PET 検査の診断成績が改善するとともに、異なる装置や異なる施設間の検査データの標準化ができるようになることが期待されます。さらには統一された基準で診療を行うことや多施設間での検査データを同じ基準で評価することが可能となると考えられます。

### [研究機関]

九州大学医学研究院保健学部門      ・教授      ・佐々木雅之  
医学系学府保健学専攻      ・大学院生      ・三笠翔平  
医学系学府保健学専攻      ・大学院生      ・谷口隆文  
医学系学府保健学専攻      ・大学院生      ・木寺大輔  
医学部保健学科放射線技術科学専攻・学部生・前嶋彬  
医学研究院臨床腫瘍外科学      ・助教      ・久保 真  
医学研究院消化器総合外科学・准教授      ・徳永えり子  
医学研究院形態機能病理学      ・教授      ・小田義直

九州大学病院 放射線部・助教・馬場眞吾

九州大学病院 医療技術部・診療放射線技師・筒井悠治

### 連絡先：

九州大学医学研究院保健学部門 佐々木雅之  
〒812-8582 福岡市東区馬出 3 丁目 1-1  
TEL (092) 642-6746  
E-mail: msasaki@hs.med.kyushu-u.ac.jp